



地域の元気応援プロジェクト【2023年度】成果報告

地域と学生の協働による中央公園（堺川沿い8ブロック）の
賑わいづくりに向けた実証実験
一歩いて楽しいまちの実現に向けてー

広島大学 先進理工系科学研究科
都市・建築計画学研究室

教員：田中貴宏
M2：山本友樹・前田丞
M1：重松大輝・平井慎二
B4：秋山結衣・森本匠

もくじ

1. 昨年度の活動
2. 社会実験
 - 2.1 社会実験内容
 - 2.2 当日の風景
 - 2.3 社会実験に対する評価
3. 高校生ワークショップ
 - 3.1 WSの概要
 - 3.2 WSより抽出できた意見・アイデア
 - 3.3 高校生の感想
4. まとめと今後の展望

もくじ

1. 昨年度の活動
2. 社会実験
 - 2.1 社会実験内容
 - 2.2 当日の風景
 - 2.3 社会実験に対する評価
3. 高校生ワークショップ
 - 3.1 WSの概要
 - 3.2 WSより抽出できた意見・アイデア
 - 3.3 高校生の感想
4. まとめと今後の展望

1. 昨年度の活動



01. 長市の現状
 長市は人口約10万人を擁する、減少傾向にある。その中でも長市中央部は人口減少が顕著である。中でも長市中央部の中心部は人口減少が顕著である。この人口減少に伴って、長市中央部の中心部は人口減少が顕著である。この人口減少に伴って、長市中央部の中心部は人口減少が顕著である。

02. 対象地概要
 1) 基本情報
 2) 周辺環境
 3) 対象地の概要

03. 各ブロックの特徴
 Aブロック (広島の広場) Bブロック (こもれび広場) Cブロック (こもれび広場) Dブロック (広島の広場) Eブロック (緑の広場) Fブロック (緑の広場) Gブロック (水の広場) Hブロック (広島の広場)

04. 入居データ解析
 05. アクティビティ調査
 06. アンケート調査

07. 再整備に向けた社会実験
 08. 全体計画

07. 再整備に向けた社会実験
 概要
 2023年1月(土)～1月24日(日)の1週間、Gブロックの中央公園にて、5つの実験的試みを実施した。5つの実験的試みは、それぞれ異なるテーマを設定し、市民の参加を促すことで、公園の魅力を高めることを目指した。

08. 全体計画
 全体コンセプト
 全世代が日常的に楽しめる公園
 ① 公園の再整備
 ② 公園の活用
 ③ 公園のデザイン

1. 昨年度の活動

■小さな取り組みを継続的に重ねる手法
タクティカルアーバンイズム

アクション → アクション → アクション → ... → 将来像

フィードバック (e.g. 調査研究) フィードバック (e.g. 住民WS) フィードバック (e.g. アンケート)

地域と共に**小さなアクションを重ね**将来像の実現を目指す

昨年度は様々な調査・分析を行い...

将来像とその実現に向けた進め方の在り方を提示

1. 昨年度の活動

■**現地踏査**
 → 日常的な利用は多くみられない

■**調査・分析の結果**
 人流分析 → Aブロック以外は通過目的
 アクティビティ調査 → 中高生の利用が少ない
 アンケート調査 → 新たな機能が求められる(飲食・Wi-Fi...)

考察①
モノの存在が公園の利活用促進に繋がる

考察②
 中高生の公園利用に関して特に課題がある

1. 昨年度の活動

9

■前年度の成果を踏まえて...

考察①

モノの存在が公園の利活用促進に繋がる

今年度の活動①：Aブロックを対象とした社会実験の実施

考察②

中高生の公園利用に関して特に課題がある

今年度の活動②：高校生を対象としたワークショップの実施

もくじ

10

1. 昨年度の活動

2. 社会実験

- 2.1 社会実験内容
- 2.2 当日の風景
- 2.3 社会実験に対する評価

3. 高校生ワークショップ

- 3.1 WSの概要
- 3.2 WSより抽出できた意見・アイデア
- 3.3 高校生の感想

4. まとめと今後の展望

2.1 社会実験の内容

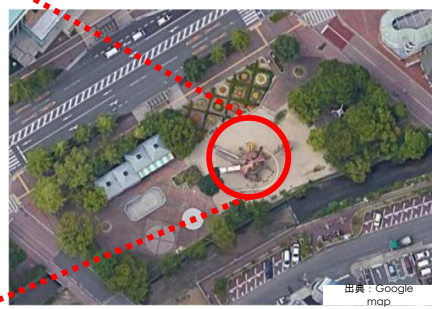
11

■実施日：10月29日（日）、10月30日（月）

■対象地：Aブロック

—Aブロックの特徴—

- ・最も北側に位置し、市役所に近い
- ・中央に遊具があり利用者数が多い
- ・ファミリー層の利用が見込める



2.1 社会実験の内容

12



平常時のAブロックの様子

- ・シャッターが閉まっており、暗い印象
- ・ベンチは設置されているものの利用は少ない
- ・人々の滞留は遊具の空間のみ

2.1 社会実験の内容

13

■社会実験での取り組み

①テーブル・イス、デッキの設置

→既存のベンチに代わって、滞留を促進するモノの設置による利用変化を把握する

②コーヒーの提供・お弁当販売

→Aブロックでの商業機能のニーズを把握する

③遊び道具の貸し出し

→ブロックの特性に合ったモノによる利用の変化を把握する

2.1 社会実験の内容

14

①テーブル・イス、デッキの設置

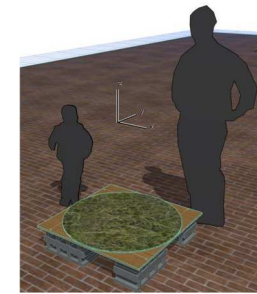
テーブル・イスセット

→既製品を使用



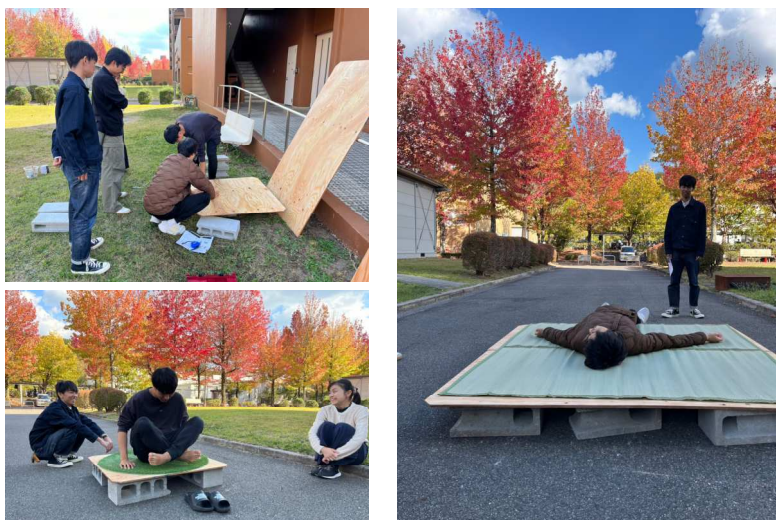
デッキ

→学生で設計・作成



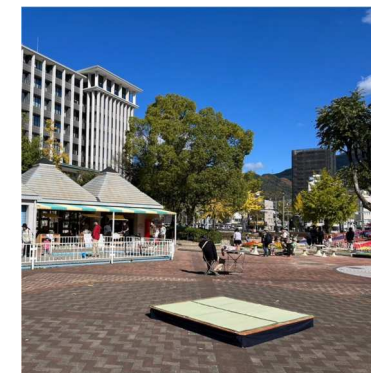
2.1 社会実験の内容

15

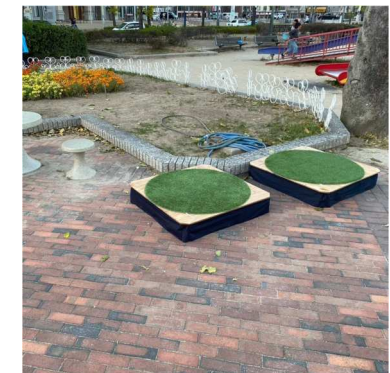


2.1 社会実験の内容

16



デッキ大 1820×1820



デッキ小 910×910

2.1 社会実験の内容

17

② コーヒーの提供・お弁当販売



ハンドドリップコーヒーの提供

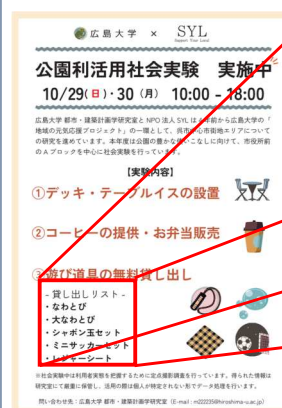


お弁当販売

2.1 社会実験の内容

18

③ 遊び道具の貸し出し



- 貸し出しリスト -

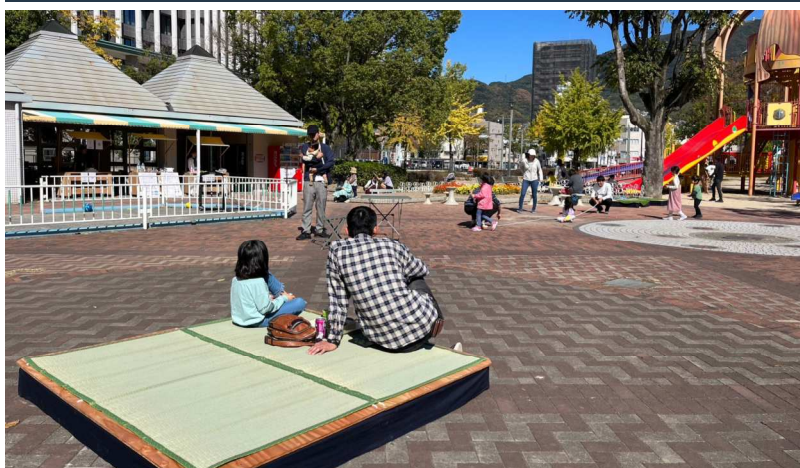
- ・なわとび
- ・大なわとび
- ・シャボン玉セット
- ・ミニサッカーセット
- ・レジャーシート



小さな子ども連れのファミリー層に向けた道具を選定

2.2 当日の風景

19



デッキ大は小さな子どもから大人まで多様な主体の利用が確認できた

2.2 当日の風景

20



2.2 当日の風景

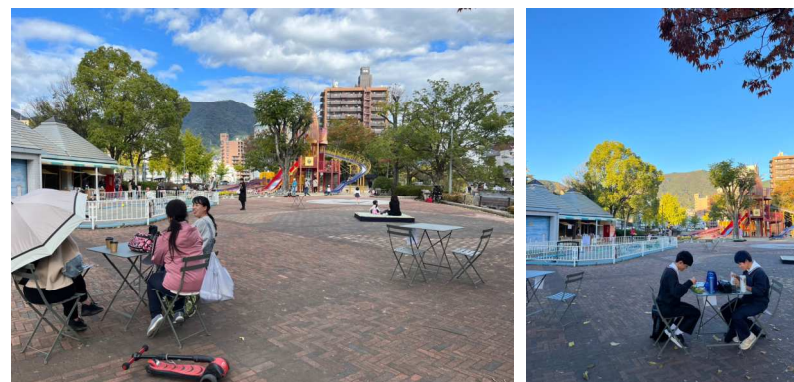
21



デッキ小では目が離せないような子どもとの利用が多くみられた

2.2 当日の風景

22



テーブルイスでは食事や会話、休憩といった利用がみられた
提供したコーヒーをテーブル・イスで飲む人も多くみられた

2.2 当日の風景

23



木陰のテーブルではPC作業をする人もみられた

2.2 当日の風景

24



遊び道具の貸し出しは比較的小さな子ども利用が多くみられた

2.2 当日の風景

25



既存の囲いを利活用したミニサッカーは小さな子どもに特に好評

2.3 社会実験に関する評価

26

■社会実験時の利用者アンケートを実施

	10月29日(日)	10月30日(月)
回答数	83	24
有効回答数	75	14
有効回答率	90%	58%

2.3 社会実験に関する評価

27

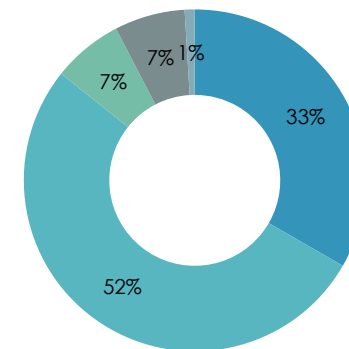
■調査内容

- Q1. 性別
- Q2. 年代
- Q3. 居住地
- Q4. 公園を訪れた目的
- Q5. 利用頻度
- Q6. 飲食サービス（コーヒー・弁当）に対する評価
- Q7. 公園にほしい飲食ジャンル
- Q8. テーブル・イス設置に対する評価
- Q9. テーブル・イスにてどのような利用がしたいか
- Q10. デッキ設置に対する評価
- Q11. デッキにてどのような利用がしたいか
- Q12. 遊び道具貸し出しに対する評価
- Q13. 貸し出しをしてほしい遊び道具
- Q14. 社会実験に対する総合評価
- Q15. 自由記述

2.3 社会実験に関する評価

28

Q6 コーヒー提供・弁当販売に対する評価



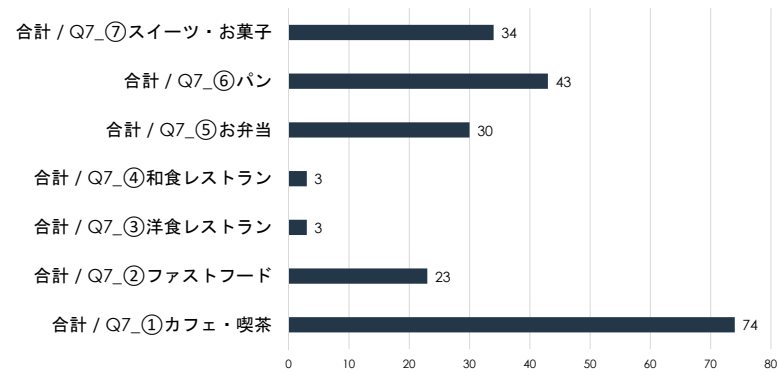
- ①日常的に設置してほしい
- ②休日に設置してほしい
- ③イベント時のみ設置してほしい
- ④あまり使わないので必要ない
- ⑤その他

肯定的な意見が9割以上

2.3 社会実験に関する評価

29

Q7. 公園にほしい飲食ジャンル

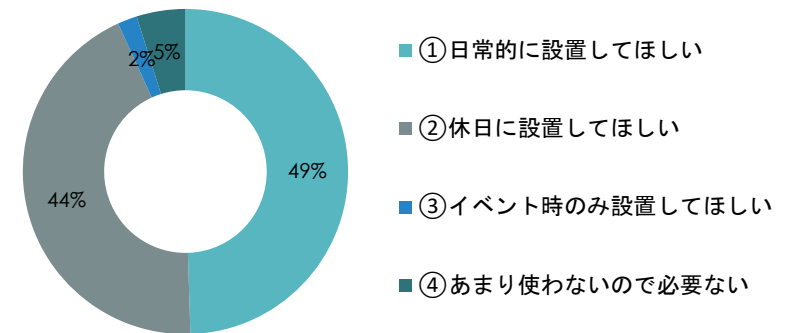


カフェ・喫茶やパン、お菓子といったお手軽なジャンルが人気

2.3 社会実験に関する評価

30

Q8. テーブル・イス設置に対する評価

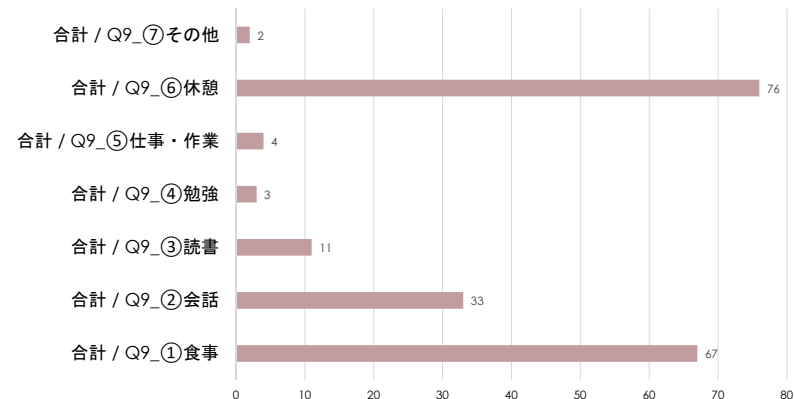


95%が肯定的な意見で、日常的な設置が特に求められる

2.3 社会実験に関する評価

31

Q9. テーブル・イスにてどのような利用がしたいか

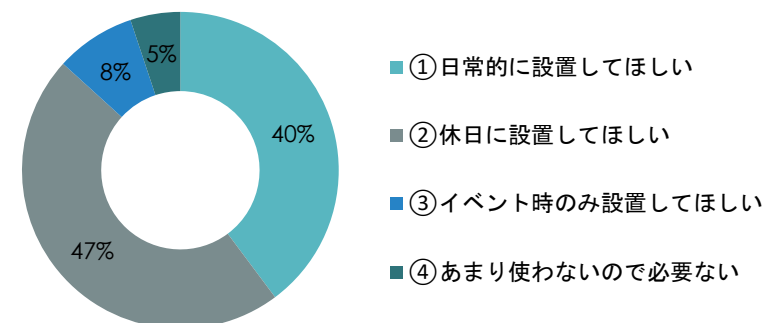


休憩や食事、会話の利用とテーブルイスの相性が良い

2.3 社会実験に関する評価

32

Q10. デッキ設置に対する評価

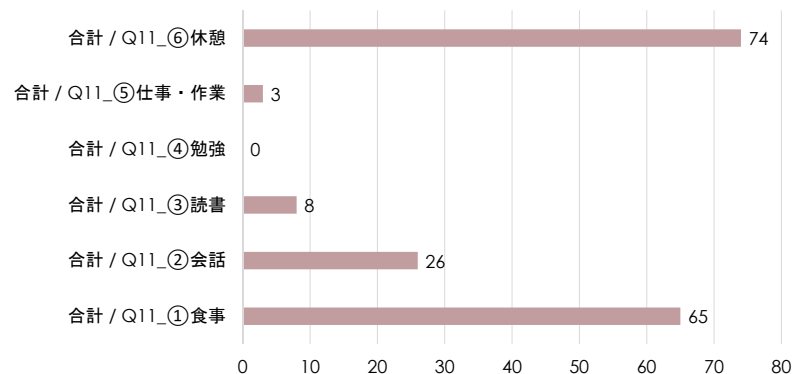


95%以上が肯定的な意見

2.3 社会実験に関する評価

33

Q11. デッキにてどのような利用がしたいか



「勉強」はないものの、おおよその傾向はテーブルイスと同様

2.3 社会実験に関する評価

34

Q15. 自由記述（抜粋）【社会実験に対する意見】

子供も遊具で遊び、親も座ってゆっくり休めてよかったです

いつもより人が多く賑わっているので良い試みだと思います。

よく子供が集まる場所なので、ぜひイスやデッキを設置してください。食事もできるようにしてください。

テーブルイスがあると、食事のときはもちろん休憩時ケガした時でも助かります。中央公園は、中央地区では広い公園なので、のびのび遊ぶ区画があると大きい子も今まで通り遊びに来ると思います。小さい子から大きい子まで一緒に遊べる場所になるとうれしいです。

2.3 社会実験に関する評価

35

Q15. 自由記述（抜粋）【整備に向けた要望など】

日よけ場所があるといい

小・中学生の大きめの子供と幼児の子供が危なくないように遊ばせれる方法や環境を考えて欲しい

周辺環境を巻き込んだ公園の運営協議会の設置、休日を中心にチャレンジショップの運営

けん玉や竹馬など昔ながらの遊びをしても面白いと思います。地域の高齢者のボランティアの人たちに教えてもらったりなど

ベンチが木が古く、ハトがフンをして汚いので、本日設置されている椅子やテーブルを設置してほしいです。

もくじ

36

1. 昨年度の活動
2. 社会実験
 - 2.1 社会実験内容
 - 2.2 当日の風景
 - 2.3 社会実験に対する評価
3. 高校生ワークショップ
 - 3.1 WSの概要
 - 3.2 WSより抽出できた意見・アイデア
 - 3.3 高校生の感想
4. まとめと今後の展望

3.1 WSの概要

37

■高校生ワークショップの目的

地元の高校生の公園に対する意見を調査すること



- ・昨年度の調査にて若い人の意見を抽出できていない
- ・「呉百人会議」にて高校生の放課後の居場所が少ないといった意見

3.1 WSの概要

38



■実施日時：2023年11月22日（水） 14：20～16：10

■場所：くれ協働センター（呉市役所）

■対象：広島県立呉宮原高校 2年生 計28人
※宮原高校の探求学習の時間をお借りして実施

3.1 WSの概要

39

■ワークショップの流れ

ワーク①：どのような活動（コト）を行うことができれば中央公園に行こうと思うか？

ワーク②：挙げた活動（コト）を行うにはどのようなモノがあれば良いと思うか？

ワーク③：挙げたモノはどのブロックにあるのが望ましいか？

各チーム1分から2分程度で発表

3.1 WSの概要

40



3.1 WSの概要

41



3.2 WSより抽出できた意見・アイデア



3.2 WSより抽出できた意見・アイデア

43

■公園全体に対する意見

- SNS用の写真や動画を撮りたい
- デートスポットが欲しい
- 友達と会話や勉強ができる場所が欲しい
- スポーツやスケボーができる場所が欲しい

- フリーWiFiや携帯の充電スポット
- 街灯やイルミネーション
- 屋根付きの机と椅子

3.3 高校生の感想

44

こんな些細なことも書いていいんだと思いました。
自由に自分の考えを書くことができて楽しかったです。

各班の発表を聞いて、同級生がどんなことを
考えているかを知ることができて面白かったです。

中央公園をただの通り道にしないように
私たちもできることを考えたいと思いました。

大学生と一緒に活動できたことが刺激的で、
自分たちの探求学習を進める上でも参考になりました。

進路の選択肢や自分の視野を広げるいい機会になりました。

- 1. 昨年度の活動
- 2. 社会実験
 - 2.1 社会実験内容
 - 2.2 当日の風景
 - 2.3 社会実験に対する評価
- 3. 高校生ワークショップ
 - 3.1 WSの概要
 - 3.2 WSより抽出できた意見・アイデア
 - 3.3 高校生の感想

4. まとめと今後の展望

考察①

モノの存在が公園の利活用促進に繋がる

今年度の活動①：Aブロックを対象とした社会実験の実施

- ・必ずしも大きな整備を行わずとも、公園の満足度向上は可能
- ・各ブロックの特性に合わせた環境整備が有効
(Aブロックは親子利用が多いため、子どもには遊び道具の貸し出し、親には軽い飲食サービスが好ましい等)

といった公園の利活用や整備に向けた知見が得られた

今後の展望

- ・小さな工夫で済む部分と大規模な整備な部分を見定めること
- ・日常利用に向けたより長期的な社会実験・その効果検証

考察②

中高生の公園利用に関して特に課題がある

今年度の活動②：高校生を対象としたワークショップの実施

- ・高校生の放課後の居場所が少ないこと
- ・高校生にとって今の中央公園は魅力的には映っていないこと
- ・WSを通して高校生ならではの意見が得られること (e.g. 星空映画館、勉強ができる場所、スポーツができる場所)

といったことが明らかになった

今後の展望

- ・高校生など若者にとって魅力的な公園に向けた整備検討
- ・各年代に対する詳細なニーズ調査とその検証

